

令和5年9月15日

保護者各位

刈谷市立衣浦小学校長
竹口 史恭

全国学力・学習状況調査の結果について

令和5年4月18日に実施しました「全国学力・学習状況調査」の調査結果が文部科学省より届きました。下記のとおり、調査結果の取り扱いに関する方針と本校の結果の概要をお知らせします。また、お子様の結果につきましても、個人票をお渡ししますので御覧ください。

記

1. 調査結果の取り扱いに関する方針

本校は、文部科学省及び愛知県教育委員会が示した「序列化や過度な競争とならないようにするため、文部科学省から提供された平均値等の数値そのものを公表しない」「データを分析し、改善すべき点の把握に努める」という方針に基づいて、概要を報告させていただきます。

2. 本校の結果の概要

国語	<ul style="list-style-type: none">・本校の正答数分布は、全国や愛知県の分布をほとんどの項目で越えており、おおむね満足できる状態である。・観点別では「知識及び技能」は高い。「思考力、判断力、表現力等」の「読むこと」は高いが、「話すこと・聞くこと」に課題がある。・「読むこと」の中でも、目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして必要な情報を見つけることに優れている。・今後は、必要なことを質問しながら聞き、話し手が伝えたいことや自分が聞きたいことの手を掴めることができるような活動を行っていき、「話すこと・聞くこと」を伸ばしていきたい。
算数	<ul style="list-style-type: none">・本校の正答数分布は、全国や愛知県の分布をほとんどの項目で越えており、おおむね満足できる状態である。・学習指導要領の領域が示す「数と計算」「変化と関係」「データの活用」の3つの領域はよく定着しているが「図形」の領域において少し課題がある。・「変化と関係」は正答率が特に高く、伴って変わる二つの数量が比例の関係にあることを用いて、知りたい数量の大きさの求め方と、式や言葉を用いて答えを記述することができている。・今後は、辺の長さや面積の関係を基に大小を判断し、言葉や数を用いてその理由を説明する力をより定着させていきたい。
児童 質問紙	<ul style="list-style-type: none">・朝食をしっかりと食べ、毎日同じくらいの時間に寝て、同じくらいの時刻に起きるなど、規則正しい生活をしている児童がほとんどである。・人の役に立つ人間になりたいと考えている児童の比率が高く、なりたいたと考えていない児童は一人もいない。・自分のよいところがあるか、将来の夢や目標をもっているかという項目で「当てはまる」と回答する児童がもっと増えるように、自己肯定感を高めていきたい。・算数や英語の授業を好きだと答える児童や、授業の内容がよく分かると答える児童の比率が高い。・今回のテストについて、全ての問題に最後まで回答を書こうとした児童の割合が全国や愛知県よりも非常に高く、意欲的に取り組むことができていた。

※個人票の見方等について質問がありましたら、担任までご相談ください。